

中小児童教育アンケート R3. 10実施



3年生以上で、前期の学校生活を振り返るアンケート調査を実施しました。災害や事故対応についての評価は93%の児童が昨年度に引き続きA評価です。「コロナ感染症対策」や「命を守る訓練」「交通安全」等、どのように対応すればよいか具体的に指導した現れだと思えます(Ne15・16)。また、「先生は困っていることに対応してくれる」「先生はきちんと褒めてくれる」等で昨年度同様9割近い児童がA評価です。今年度も担任との強い信頼関係が築かれつつあると考えられます。また、「仲間となかよく遊んだ」では、昨年度の同時期と同様、高い評価となっています。このことも仲間との望ましい人間関係も築きつつあると言えます。その一方で、掃除の時間の「だまって掃除」は、A評価は昨年度同様、5割程度です。A・B評価では9割になりますが、まだまだ目指す姿には到達していないと、子どもたち自身が感じています。また、「授業中は進んで課題に取り組み、自分の考えを発表した」のA評価も他の項目に比べて低く、前年度比較すると7.7ポイント伸びていますが子どもたち自身もまだまだ頑張る必要があると思っています。学習課題に対して「自分なりの考えをもち、仲間との対話を通して深めていく学習の大切さ」が叫ばれています。「自分の考えを伝え合うこと」「あきらめずに粘り強く学習すること」に苦手意識があるままでは、十分に「自分の学び」を深めていくことができません。これにつきましては、算数科の授業を中心に全職員で方策を考えて取り組んでいきます。さらに、子どもたちの家庭学習の充実を図るとともに家庭での見届けと励ましをしていただくと子どもたちの「学びの力」を伸ばすことにつながっていくと思えます。